

—いのち・暮らしまわれ—

いつでも どこでも だれでも



安全・安心の医療・介護を

安倍政権は、「自己責任」と「営利化」を基本に据えた社会保障の大改悪を押し進めています。

医療

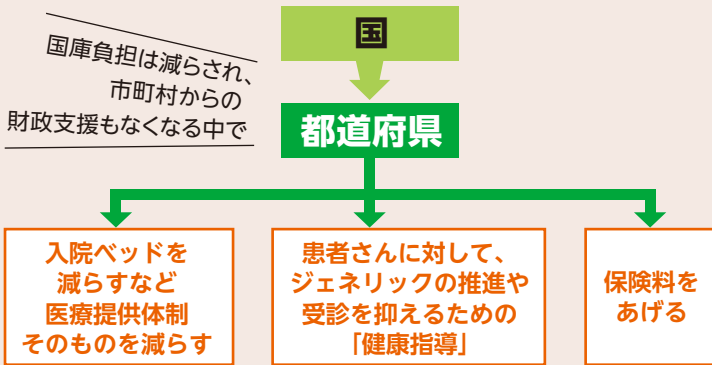
いのち削る医療改悪

「医療ビジョン」作成で病床数を大幅削減



医療費抑制を自治体に押し付け

医療費抑制の仕組み



- 入院の食事療養費の自己負担額 **260円→460円以上に引き上げ**
1か月入院すると18,000円もの負担増!
- 紹介状なしの大病院受診で定額1万円
- 「患者申出療養制度」の創設で混合診療の拡大
3割負担に加え自己負担がどんどん増える!

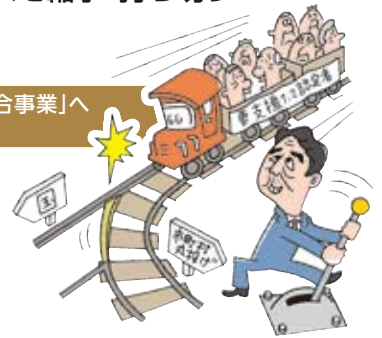


介護でも改悪につぐ改悪 介護

介護保険の分野でも制度始まって以来の大改悪が目白押しです。

要支援者の訪問介護、デイサービスを縮小・打ち切り

「給付」から「総合事業」へ
移し替え



市町村が実施する「総合事業」では…

介護費削減
がねらい!

ヘルパーなど専門職による「専門的サービス」が、ボランティアなどによる「多様なサービス」にどんどん移し替えられます。



新たな振り分けのしくみで
介護は「卒業」へ



「安全・安心の医療・介護の実現を求める国会請願署名」
にご協力ください。